

# TOREK 自然農法 ホットニュース

第 181 号 2013. 5. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

## 母、激しいおう吐の回復！

東京都 阿部恭之



今年1月末、80歳と高齢の母が、約1日おう吐を繰り返していました。おう吐の後には下痢もありましたが、「何か飲みたい」と話せるようになってから、自然農法のほうじ茶を何杯か頂きました。何か口に入るようになったことで家族も安心しました。その後、自然農法のほうじ茶、みかんジュース、自然米のお粥から力をもらい、1週間ほどで良くなりました。母は市販のコーンスープが好きで、良くなる過程で1度飲んだところ、まずくて口に入らず、捨ててしまったとのことでした。

普段、母は自然農法の作物への関心がうすく、市販の物中心の食生活となっていました。この経験を通して大切さを学び、今ではなるべく自然農法の作物を摂るようにしています。生産者の皆様、ありがとうございました。

## 20代の私、食への関心②

東京都 長島宣子



食に興味を持ってから、私の体も敏感になりました。さくらんぼ、リンゴ、モモは、農薬が強いせいか食べるとすぐ唇が痛くなり、腫れ上がります。高級フルーツ店のフルーツタルトを食べたときもリンゴに反応したのか、唇が腫れました。中島さんのリンゴは美味しく頂けます。また缶コーヒーを購入することもありましたが、「微糖」などに入っているアスパルテームやスクラロースといった人工甘味料が苦手になりました。ダイエットシュガーの歌い文句で、砂糖と違いカロリーはないと言いますが、砂糖は動くも燃焼されますが、人工甘味料は体内に残るとも言われています。とは言っても人から頂いたものや、気づかずに購入したり、おいしそうに見えてしまうときがありますので、そういうときはおいしく頂くことにしています。

話は変わりますが、前回の東中野頒布会の際、「駅前でチラシ配りをしてください！」と言われ、ドキドキしながら配布をしました。「無肥料無農薬のお野菜販売してます！」との言葉に60代くらいの女性が足を止め、「自然米3合プレゼントしますので、見に来ませんか？」と言うと、「自然米？3合？タダなの？」とさらに興味を示され、会場へお連れしました。その女性は東中野在住で、普段新宿伊勢丹まで減農薬のお米を購入しに行っているそうで、東中野で自然米が売っていることに大変驚いていました。その方のご実家は農家で、農薬の名前や恐ろしさを誰よりも知っているとのことでした。会場へ着くなり、自然米の価格の安さにびっくりしていました。私も後日、自然食品の店やデパートでお米の価格を見ましたが、減農薬のお米ですら自然米の倍近い値段で販売されていました。この女性以外にも、チラシ配りの際、足を止めて農薬の怖さを知っていると共感してくれる方が多くいました。確実に消費者の食に対する関心が増えていると実感できた一日でした。



また昨年、友人が大病を患い、手術をし、入院生活が続いていました。手術後すぐは空腹で病院食を食べられていましたが、次第に食べたくないと申し出ました。毎日の点滴と薬投与のため、食欲が減退していました。そこで私は自然米で作ったおにぎりを届けると、病院で栄養など計算された温かい食事には見向きもしないのに、「このおにぎりは手が伸びる。体にすーっと入っていく」とのことでした。それから友人は「私のお見舞い＝自然米のおにぎりが食べられる」と喜んでいました。

現在28歳、恥ずかしながら、毎朝母は会社に行く私のために自然米を使用したお弁当と自然農法のほうじ茶を魔法瓶に入れて用意してくれます。しかし、これからは家庭を持つ身として、自分で作ったり家族のために作る際は、母がそうしてくれたように、できるだけ自然の物を食卓に取り入れ、感謝と喜びを持って行けたらと思います。また弥生会スタッフとして、これからも多くの青年が自然農法に関心を持ってよう努めて行きたいと思っています。

## 市川生産グループ お茶摘み！

静岡県の宇佐美で4月29日、長者原では5月12日に、両日とも快晴の中、お茶摘みを行いました。

今年は夜間の気温が低いなどの気候の影響で、あちこちで霜の被害があったとのことですが、宇佐美も長者原も自然茶の被害は一切なく無事でした。長者原では雨天のため1日延期して茶摘みを実施しましたが、結果的に予定していた人数より多くの方が参加しました。「その日ならOK！」と地主さんもお家族と6人で応援に駆け付けてくださいました。青年も多く参加し、また家族や職場の協力のお蔭で参加できないと思っていたが参加できたという方もいて、本当に皆様のお蔭に感謝です。和気あいあいとした雰囲気の中、十分に伸びた新芽を摘むことができました。

「初めはうまくできなかったが、最後はうまくできるようになって楽しかった。小さな葉を1枚1枚摘むなんてすごいことだと感動した」「作業は疲れても、お茶の香りに癒された。無施肥無農薬だからこそ、素手でお茶摘みしても安心」という声が聞かれました。目標収量110kg(収量:宇佐美116.55kg、長者原122.65kg)も達成し、最高のお茶摘みを終えることができました。どんな味のお茶になるか楽しみです！（市川スタッフ:石井美子）



## 三六九会 お茶摘み！

5月18日(土)、埼玉県入間市での三六九会のお茶摘みに参加しました。今年は桜の開花が早かった反面、その後、寒い日が続き、5月に入ってもお茶の新芽がなかなか伸びないようでした。お茶摘みの日程も当初の予定より一週間遅れになりましたが、それでも新芽はまばらで、かといってその次の週では逆に伸びすぎて味が落ちるとのことでした。

当日はみごとな快晴、小学生1名を含む36名が参加しました。例年通り、機械で刈った後の刈り残しを手で摘んでいくのですが、いつもより葉が少ないかなと感じ、今年の収量は100kgに届かないのではと思いました。しかし製茶工場の方から「他の農家は霜にやられて収穫できなかったところもある。送風機がないのにこれだけとれたらすごい。茶葉の質もいい」とほめられたそうです。収量はなんと123.8kgでした。（編集部:田村）



## お知らせ

自然農法勉強会 6月19日(水) 別院講堂 午前の部 10:30~ 午後の部 19:00~  
自然農法頒布会 6月18日(火) 鎌ヶ谷会場 11:00~ (売り切れ次第終了)  
6月30日(日) 東中野会場 10:00~ (売り切れ次第終了)

## 無施肥無農薬栽培物の販売予定

6月3日 於:伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- 長柄山自然農園 : 卵 ● きじま平自然農産: 甘納豆、納豆、きじま弁当
- 市川生産グループ: 新茶、ほうじ茶、みかんジュース ● 中島農園: キヌサヤエンドウ、フキ
- 菜園金野: ダイコン、長ネギ、京菜、タマネギ
- ジョリフィーユ: 和三盆糖自然のクッキー、カスタードプリン、マドレーヌ ほか

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: [naturefarming@torek.jp](mailto:naturefarming@torek.jp)  
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>